

新日本婦人の会寝屋川支部が寝屋川市長に提出した
「妊婦健康診査の公費負担の拡充を求める要望書」から

【要望項目】

1. 経済的理由等により受診をあきらめるものを生じさせないために、全ての妊婦に妊婦健康診査の公費負担をお願いします。
1. 厚労省の通達にあるように公費負担14回実施に向けて計画していただくと同時に、当面〔最低必要な健康診査の時期と内容等〕の5回を実施して下さい
1. 妊婦健康診査の受診の重要性について、妊婦・一般市民および事業主に対する周知・広報を今以上に積極的に取り組んで下さい。

妊婦健康診査の公費負担 最低5回以上にー新婦人が要望書

十一月二二日、新日本婦人の会寝屋川支部（代表者 垣内規子）が、馬場好弘市長に「妊婦健康診査の公費負担の拡充を求める要望書」を提出しました。

厚労省が望ましいとする妊婦検診は概ね十四回です。順調な場合でも受診費用は、十万円前後かかります。若い世代には大きな負担です。「最低五回以上は公費負担すべき」との厚労省通知が〇七年一月に出されました。

寝屋川市では、妊婦健康診査給付金制度がありますが、対象が生

けずに出産直前に異常が見つかり、母子共に危険に陥るケースも起っています。

今各地で、検診を受けたが、母子共に心配をせず、安心して出産できるよう、より良い制度に拡充するよう、三項目の要望をしています。（別掲）

この件に関して、九月の厚生常任委員会協議会で、田中ひさ子議員が質問しています。

各地で、妊婦を乗せた救急車が、長時間たた教急車が、長い回しになる事件が相次いでいます。

枚方寝屋川消防署では、今年は八月までで産婦人科への搬送拒否が、寝屋川で十七件ありました。最も多かったケースは、八箇所で拒否されました。二十歳、妊娠六ヶ月、産婦人科にかかるなく母子手帳も持参していないました。ある医師は、「妊娠には喜びと同じくらい

不安があります。検診を受けない人は、お金がなく、身近に声をかけてくれる人もおらず、孤立している人が多い」と言います。

東京都台東区では、今年十月一日から、これまでの前期・後期の二回の他に、十二回までの妊婦健康診査の費用を一回あたり六千円助成しています。

厚労省は、〇七年度予算で、妊産婦健康診査も含めた少子化対策について、地方財政措置をしたといいます。

すべての妊婦が安心して出産できる制度にして

寝屋川民報
議会版

発行 日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email : jcpncc@cc-net.or.jp

No. 2095

太田 とおる
高柳2丁目49-2
826-1864

田中 ひさ子
国松町10-36
823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
829-9424

中林 かづえ
宝町4-3-3
839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
821-7427

世界祝

十一月五日、市議会文教常任委員会の視察がありました。六日、品川区の「のびっこ園台場」を訪問しました。昭和四八年以来の区立幼稚園に、昨年六月から区立保育所が併設され、幼保一体施設として運営されています。自慢は、草花や虫などに触れることができる自然環境の裏庭です▼今年度当初の園児数は、〇歳6人、一歳10人、二歳12人、三歳5人、四歳11人、五歳4人、総数98人となっています。四歳からの幼稚園の保育料は、月額八千円。幼稚園教育の前後（7時半～9時、14時半～19時半）に就労支援型預かり保育、（4時半～6時半）に子育て支援型預かり保育が実施されています▼就労支援型を利用することは、一日（7時半～9時半）千百五十円、18時半までなら七五〇円、子育て支援型は一日四百円（別途おやつ代六十円）。給食は、三歳まで保育所調理で、幼稚園は隣接の学校給食を利用しています▼実践上の検討課題は多々あるものの、公立の保育所や幼稚園の廃止ありきの寝屋川市の行政からみて、学ぶことが多い視察でした。